

# 新庄市議会だより

No.144  
2019.5.13



---

市長へ政策提言	.....P4~5
予算修正案可決	.....P15
特集 未来を育む子供たち	.....P16

---

## 「農林大学校との交流」

升形小学校の5・6年生は、農林大学校と交流しており、今年度は、稲作経営学科と花き経営学科のみなさんと交流したり、栽培活動を体験したりしました。

写真は、花き経営学科のみなさんと一緒にフラワーアレンジメントを体験した時のものです。

## 2月臨時会

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第1号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
議案	第1号	新庄市課設置条例の一部を改正する条例について	可決

## 3月定例会の経過

3月定例会の初日、報告1件を了承、諮問2件に同意し、平成30年度各会計補正予算7件、議会議案1件を可決した。

最終日には平成31年度一般会計予算の内、看護師養成所開設に関わる事業費の一部の支出を認めない修正案とその他の一般会計予算および各特別会計予算、条例改正6件の14議案を可決した。また、追加提案された平成30年度補正予算2件を原案通り可決し、請願2件を採択し意見書提出を決め、閉会した。

### 3月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第2号	新庄市土地開発公社の経営状況の報告について	了承
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案	第2号	平成30年度新庄市一般会計補正予算（第7号）	チョイス1・2 可決
	第3号	平成30年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第4号	平成30年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	可決
	第5号	平成30年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第6号	平成30年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第7号	平成30年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第8号	平成30年度新庄市水道事業会計補正予算（第5号）	可決
	第9号	平成31年度新庄市一般会計予算	修正可決
	第10号	平成31年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第11号	平成31年度新庄市交通災害共済事業特別会計予算	可決
	第12号	平成31年度新庄市公共下水道事業特別会計予算	可決
	第13号	平成31年度新庄市農業集落排水事業特別会計予算	可決
	第14号	平成31年度新庄市介護保険事業特別会計予算	可決
	第15号	平成31年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
	第16号	平成31年度新庄市水道事業会計予算	可決
	第17号	新庄市市営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第18号	新庄市立学校設置条例の一部を改正する条例について	可決
	第19号	新庄市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第20号	新庄市農業集落排水処理施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第21号	新庄市下水道条例の一部を改正する条例について	可決
	第22号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について	可決
	第23号	平成30年度新庄市一般会計補正予算（第8号）	チョイス3・4 可決
	第24号	平成30年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第6号）	可決
	議案	第1号	新庄市議会委員会条例の一部を改正する条例について
第2号		ライドシェアの導入に反対し、タクシー事業の維持・確保を求める意見書の提出について	可決
第3号		廃止された「主要農作物種子法」の復活等を求める意見書の提出について	可決

# 議案及び請願に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案をお知らせします。 ○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	起新の会			市民・公明クラブ			穆清会			絆の会			会派に属さない議員			採決結果			
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋	新田道尋	佐藤悦子		叶内恵子	下山准一	星川豊
議案第9号	平成31年度一般会計予算(修正案)	棄権	○	棄権	—	棄権	棄権	棄権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
議案第9号	平成31年度一般会計予算(修正議決された部分を除く原案)	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否をはかっています。(新庄市議会会議規則第70条:可をもって諮ることを原則)

## 議案第9号の採決結果について

議案第9号平成31年度一般会計予算は、予算特別委員会において修正案が提出され、賛成多数で可決されました。そのため、原案を修正案のとおり修正した予算案について賛否を図り、本会議で採決を行いました。

関連は15ページ「とびっくす」へ

## 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について	山形市大字漆山字行段1422 一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川 康夫 山形市木の実町12-37 大手門パルズ4階 全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部 執行委員長 遠藤 栄二	高橋富美子	採択
廃止された「主要農作物種子法」の復活を求める請願	新庄市十日町 2082 ネットワーク農縁新庄 代表 高橋 保広	新田道尋	採択

### 人事案件

3月1日(定例会初日)に同意された人権擁護委員を紹介いたします。  
人権擁護委員  
長沢 淳子 氏  
(新庄市若葉町10番13号)  
小野 徳子 氏  
(新庄市大字升形1848番地の1)

## 平成30年度補正予算に関する質疑

### チヨイス1

看護師養成所建設事業債

Q. 9月議会で補正予算を計上し決議された予算が3月議会で全額減額議案に議案として提出し採択されたものをそのまま減額補正とは、補正予算というものをどのように考えているのか。

A. 議会で議決されたものを速やかに執行するのが執行部の役割であるので、スケジュールどおりに行かず3月議会で減額したことを大変申し訳なく思う。特別委員会へも今年度中に取得したいと申し上げたが、地方創生交付金の方向性を探るため今年度に起債が活用することができなかつた。財源確保のためにやむを得ず減額し、来年度有利な起債を活用するためなのでご理解いただきたい。

Q. この状況になったのは看護師養成所に関する進め方の見直しを図つたからだが、そうだとすると議会で議論した中で議決されたものを減額するということに対して行政サイドはどう受け止めているか。

A. 執行部としても9月議会で決議されたことを何とか執行したいという考えから、土地開発基金で一時的に取得して、来年度予算で買戻すという手法を取らせていただたくもの。議会の議決を最優先し、有利な起債も使えるようにと考えて執行するものなのでご理解いただきたい。

### チヨイス2

予防接種事業費

Q. インフルエンザの予防接種かも

つとあったほうがいいのではという声があったがどう考えているか。今後大流行しないための対策は考えているか。

A. 予防接種は法定で定期接種となつており市で委託している。インフルエンザは今年度流行しているが、小児は対象ではない。高齢者は対象で、昨年と比べ増えているが補正では計上していない。今回はインフルエンザ以外の小児予防接種で当初見込みより乖離していたため240万円ほど減額計上した。インフルエンザは流行すると医療費の増加に直結するので予防に努めている。

### チヨイス3

道路の除排雪業務費

Q. 道路排雪で、重機で寄せられた碎石などが目立っている。対応はどのようにしているか。

A. すでに業者には排雪指令を出した。作業の方法については全部を取るのではなく少し残した状態で取りなるべく農地等の雪下の部分を傷めないよう対応していただいている。

### チヨイス4

山屋セミナーハウス油水分離業務委託

Q. 調査の仕方に問題があると思うが、今後どう進めていくのか。

A. 井戸水調査は、有志会と教育委員会と一緒に状況対応にあたるという考え方で協力いただいた。疑念があれば教育委員会に連絡いただければ、職員が訪問し再度調査するなどの対応をとらせていただきたい。

# 政策提言

平成31年2月21日、新庄市議会は6項目からなる政策提言書を山尾市長に提出しました。小関淳副議長を委員長とする7名で委員会を組織し、3回の審議を経て、市の喫緊の課題である内容についてまとめたものです。



市政への反映を！

## 1. 最上圏域の交流人口拡大に向けた道の駅整備の加速について

### 提言の趣旨

本市北端までの高規格道路整備が着工された。県においても2019年度から2028年度の次期県道路中期計画の原案に最上地域における道の駅整備への支援策が盛り込まれた。それを受けて、道の駅基本構想をもとに、早急に基本計画を策定し事業ベースへ加速させていく必要がある。

### 提言の具体的内容

- ① 外部検討委員会の意見やパブリックコメントを最大限取り入れて、早急に基本計画と事業実施計画の策定ステージへと移行すること。
- ② 近隣自治体との協力体制を確立し、県との協議を推進すること。
- ③ 市全体の公共施設を見据えた長期的な財源計画を策定し、市民の理解を得ること。

## 2. 乳幼児からの特別支援活動における支援体制の充実について

### 提言の趣旨

特別な支援を必要とする児童数は年々増え続けており、各保育施設において、保育担当者との関わりや保護者との連携・相談体制など、現場では対応に苦慮している。また、発達障がいなどを診断できない医療機関が、診断まで半年待ちの状況であること、専門の相談窓口が最上地域に無いこと、さらに専門医師の不足などの課題が山積しており、改善に向けた政策を推進する必要がある。

### 提言の具体的内容

- ① 3歳児健診から就学時健診までの期間が長すぎるため、早期発見や早期療育に空白期間が生じていることから5歳児健診の検討を図ること。
- ② 発達障がいについて専門機関が最上地域に無いことから、全面移転改築する県立新庄病院には多岐にわたる障がいの早期発見と早期療育、適切な就学につなげることができる検査・診断・療育相談機能を備えるよう、市において一部財政負担を視野に入れながら県に対し要望していくこと。

## 3. 教育現場の充実と学力向上の取組について

### (1) 教育現場の充実について

### 提言の趣旨

少子化を念頭に置いた教員加配の減少がもたらす児童生徒への個別対応の希薄化が課題となっており。そこで、特に特別支援学級のある学区への教育環境整備対策は最優先とすることが必要である。

### 提言の具体的内容

- ① 国や県に対し、強固に教育対策予算措置要望を行うとともに、個別指導員等を増員し、市内各校の発達障がい児童生徒等の実情に合わせた人員配置を行うこと。
- ② 特別支援教育支援員の同一校での長期定着を図るために、雇待遇面の向上改善策を講じること。

### (2) 学力向上の取組について

### 提言の趣旨

全国学力調査での結果を真摯に受け止め、学力向上のための取り組みを強化する必要がある。

### 提言の具体的内容

- ① 数値公表を受入れ、教育委員会が先頭に立って、生徒の学習意欲と学力向上を図ること。
- ② 数値内容を教職員が共有し、全体研究会等を通じて教育力の底上げを図ること。

#### 4. 安心安全で住みやすいまちづくりについて

##### (1) 河川の適正な管理について 提言の趣旨

昨年8月初めと末に豪雨があり、道路や河川・農地などに多くの被害をもたらした。幸いにして人的被害がなかったことが救いだった。近年全国各地で多発する自然災害で、被害を大きくしている一因に、河川内の支障木が関係していると思われる。

雪の多さ以外に自然災害の少ないことを自認してきた当市ではあるが、今後の対応はよりきめ細やかなものでなければならぬ。

河川区域内にある支障木や土砂は、放置しておく増水時に水の流れを阻害し、危険な状態を招く恐れがある。未然に防ぐ、適正な管理を行う必要がある。

##### 提言の具体的内容

① 県が管理する河川について、当市も協力しつつ、支障木の伐採・撤去と堆積土砂の浚渫を促し、適正な河川管理を行うよう、一層強く県に働きかけること。

(2) 道路・橋梁等の整備・改修について

##### 提言の趣旨

第4次振興計画後期5か年基本計画の目標一覧には、橋梁長寿命化計画の達成率は20%、残りの80%は手付かずということになる。また、道路の舗装補修の達成率は8%にも満たない。振興計画の基本目標に「社会基盤が整い、安全で快適なまち」を掲げるならば、たとえ財政的には厳しいとはいえ、このような進め方ではよいはずがない。定住を促進し、人口減少の速度を緩和するには、生活環境基盤の整備を一層図る必要がある。

##### 提言の具体的内容

社会生活基盤を整えることは、定住促進を図るうえで、安心安全に暮らすまちづくりのうえでも基本であることから、

① 橋梁長寿命化計画に基づき改修を、計画性を持って速やかに実現すること。

② 道路の舗装補修を修繕計画に基づいて、早期に実現を図ること。

③ 社会資本整備総合交付金等の財源を確保すること。

#### 5. 農林業振興策について

##### (1) 県への要望活動について 提言の趣旨

本市においては、基幹産業である

農業の振興策は重要な位置付けとなっており、特に、若手経営者の育成と地元定着が喫緊の課題となっている。合わせて山形県の「森林(モリ)ノミクス」政策に起因する大手集材加工会社や木質バイオマスを活用した発電事業者等の企業進出が見られる。そのため森林経営等を担う林業者の育成も課題となっている。

山形県においては、新庄市に存する山形県立農林大学を4年制専門職大学への移行を目指し、今年度補正予算で調査費が計上されている。専門職大学は、経営者育成が大きな特徴として掲げられているため、本市が抱える課題である人材育成に大きく寄与していくものと考えられる。

##### 提言の具体的内容

① 本市における農林業をはじめ地場産業の振興と専門職大学で育成される人材を結び付けた検証を行い、県に対して積極的に要望活動を行うこと。

##### (2) 国県補助制度の有効活用について 提言の趣旨

近年、国や県からの農業に係る補助制度の採択率が低くなっている状況にある。補助制度の採択要

件が年々高くなってきている背景を考慮しても、事業者が事業に取り組む上で負担軽減を図る観点から最大限活用に向けた取り組みが必要である。

##### 提言の具体的内容

① 補助制度に係る国や県の動向を的確に捉え事業者への周知を徹底すること。

② 補助制度の内容等を事業者と丁寧に議論し、申請に向け事業者の立場に立った対応を行うこと。

#### 6. 健康増進のための温泉施設の活用について

##### 提言の趣旨

唯一ある温泉施設が閉館して1年が経過したが、今尚健康維持、増進のために必要と願う市民は多い。改めて温泉施設の重要性を認識する必要がある。

##### 提言の具体的内容

① 市民の健康維持、増進を図るため、温泉入浴施設設置調査検討協議会を早急に設置すること。  
② 県との連携を密にし、県全体で取り組むキャンペーンに同調できる体制を構築すること。

# 会計当初予算は、 万6,000円に決定

予算特別委員会(石川正志委員長)で平成31年3月8・11・12日の3日間審査しました。

## 一般会計

### 〔歳入〕

#### 地方消費税交付金

Q. 消費税率改定による清算後の市への交付額の試算はどのようにとらえているのか。

A. 現在消費税8%が施行されており、国の割合が6・3%、地方消費税が1・7%。このうち地方消費税2分の1ずつが県と市町村に配分されている。来年度予算では消費税10%の動向があり、まだ正確な数字を把握できていないが、例年の傾向から予算計上した。

#### 住宅リフォーム総合支援事業費補助金

Q. 住宅リフォーム事業については、県補助のみではなく市の補助の上乗せをして活性化に寄与すべきである。

A. 現時点で市のかさ上げの考えはなく、その理由としては、過去に適用された方との公平性を保つことと申請があつた分全てに対応するためである。この補助金の目的は住宅の質の向上と地域経済の活性化であり、仮に今後県の補助金を使い切らない状況が発生するようであれば見直しも含めて検討したい。

#### ふるさと納税寄附金

Q. ふるさと納税は、物語をしつかり作ることが大事。頑張れば、必ず数字に表れる。地場産品をPR・販

売できるアンテナショップも作れるが。

A. 来年度は携帯キャリア決済の拡大等の寄附しやすい環境を作ることと寄附額の増額を図っていく。※ガバメントクラウドファンディングは、今後導入に向けた研究が必要である。新庄のファンになってもらえるようなストーリーを考えていく。

#### 森林・林業再生基盤づくり交付金

Q. 交付金の使用事業はどのように考えどこに活用しようとしているのか。

A. この交付金は、もとは国の補助金である。中身は市内の企業が高性能の林業機械を導入する上での補助金と、集材材工場の規模拡大に伴う増築のための補助金である。

### 〔歳出〕

#### 進学準備給付金

Q. 生活保護事業費の中の進学準備給付金の詳細について伺う。

A. 生活保護世帯のうち大学等に進学するお子さんと、入学に伴い転居する方は30万円、自宅から通学する方には10万円を援助する。これまでの実績は、平成30年春進学したお子さんで市外に転居された方が2人、自宅通学が1人である。

#### 公債費

Q. 債務負担行為が3項目もある。

地方債現在高の増加が予測されるが、元利償還のピークはいつになるのか。

A. 中期財政計画ではピークを34年度と見込む。明倫学区義務教育学校と看護師養成所の大規模事業が増える要因。ほかの財政需要が出てくればさらに市債が膨らむ可能性があり、2事業の終了後は市債の発行を抑える努力が必要である。

#### 看護師養成所開設準備事業費

Q. 看護師養成所開設事業を推進するには時期尚早。まだスタートラインにもついている。市民に事業内容をよく説明し理解を得る必要がある。

A. 建設予定地の土地取得についてはすでに売買契約を締結しており、登記の手続きに入っている。一番の問題であった看護スタッフも採用する見込みが立っており、カリキュラム作成も加速度的に進んでいくと思う。実習施設については、これまでも協力を依頼してきたが、今後は看護スタッフを中心として具体的な話をしていく考えであり、一步一步前に進んでいる。

#### 新庄そばまつり実行委員会負担金

Q. 10回を迎えたが新庄産そばの全国普及とインバウンド誘致など新たな手法で複数日間催を念頭に味覚まつりを含め再考してはどうか。

A. 農林課 最上早生は需要があるので、県に収量アップの方策につい

※ ガバメントクラウドファンディング…行政主導の資金調達のこと。



かむてん © 新庄市 × 富樫義博

# 総額

# 平成31年度一般

# 187億6,694

て協力を依頼し取り組んでいく。そばまつりは人気があり複数日で実施したいが山屋地区の住民や市職員も多く動員している状況。今後の実施方法を検討したい。

**商工観光課** 農林課とは地場産品のPRを含めて連携してきた。31年は大型クルーズ船が酒田港に5回寄港するのでインバウンドにも繋げたい。味覚まつりも市制施行70周年で予算を増額したので、誘客にも企画段階から今までと違った手法を取り入れていく。

## 若者世帯住宅取得助成金

**Q.** 住宅メーカーや建売住宅の購入の場合の助成金は前年度までなかったがどのように考えているのか。

**A.** 31年度分から市内に本社又は本店を有する工務店以外の注文住宅や建売住宅も補助対象とすることで、若年者世代の定住促進に向けて取り組みたい。また、補助金額についても拡大を図り、最低金額を20万円と最大100万円まで補助したい。

## 個人情報保護審議会委員報酬

**Q.** 自衛隊に若者の名前や住所を提供しているのか。許可を得ているのか。個人情報保護として問題ではないか。

**A.** 市町村では国からの法定受託事務として自衛隊の募集に関する事業

を行っている。その中で防衛大臣からの公的な依頼に基づいて情報を提供しており法的には問題なく、個人の方の了解は得ていない。

## 災害復旧について

**Q.** 昨年8月の豪雨災害に絡んで復旧状況の説明を受けた。法定外という扱いで、復旧事業対象外の事案にどう対処するのか伺いたい。

**A.** 鳥越6区の熊の沢堰の改修について地元から水路整備の要望があったため、庁内の水路対策検討委員会で協議した結果、来年度は流域調査・検討業務を委託する。

## 河川維持費

**Q.** 昨年8月の2度にわたる集中豪雨により、準用河川・矢目田川の流域に多大な洪水被害が発生した。今後の河川改修の方向性はいかに。

**A.** 昨年8月の豪雨災害を受け県庁と協議した結果、都市下水路の雨水対策事業での補助対策ができる可能性がありその方向で進める。来年度は放流先の河川占用協議等を行い、32年度に雨水の計画変更と実施設計、33年度から工事を行いたい。

## エコロジーガーデンについて

**Q.** エコロジーガーデンの耐震化事業が進んでいる。整備推進とともに利活用の充実を一層図るべきと思う

がいかかが。

**A.** 30年度に第5蚕室の耐震改修工事が終わり、残り2つの蚕室等も整備後に計画に基づき取り組む。北側は市民が自然に触れあえる空間、南側は歴史的背景や景観を生かして散策や休憩施設等、創造の発信の施設として、利活用計画に基づき整備を行う。

## 雪の里情報館管理事業費

**Q.** 雪の里情報館の今後についてどのように運営し、入館料も求める体制づくりをしていくのか。

**A.** 昨年台湾等の方が来館し雪室に降りて雪に触れていた。改修は施設の設置趣旨等を考える必要があり、それを踏まえ展示計画や施設の利活用を考えたい。利用料は展示の仕方や館の方向性を考え検討していきたい。

## 日々雇用賃金

**Q.** 地域コーディネーターから協働活動支援員に役割を変え、新たに学校司書を配置する意図は。

**A.** 現在の地域コーディネーターの業務内容では補助金の趣旨に合わなくなった。協働活動支援員なら図書館に人がいる状況を維持し同様の業務を行える。2校については学校司書を1名ずつ配置し、図書館業務のほか指導助言等も願う。

## 一般質問

一般質問は、3月4日と5日の2日間、8名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

### 3月定例会一般質問の質問者と質問事項

#### 小嶋 富弥

1. 市職員のモチベーションについて
2. 健やかで健康的な街づくりについて
3. 県立新庄病院の移転に伴う街づくりについて

#### 山科 正仁

1. 新庄市公共施設等の最適化・長寿命化計画の方向性と手順について
2. 各種補助金や交付金の現状について
3. 市内の各種ボランティアの募集と待遇について
4. 当市の地方創生の展望を伺う

#### 石川 正志

1. ユネスコ無形文化遺産である新庄まつりの保存と継承について
2. 担い手総合支援対策事業の取り組みについて



わえ、かむてん教えて

一般質問って何?

一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん © 新庄市 × 富樫義博

#### 佐藤 卓也

1. ICT化推進について
2. 中小企業・小規模事業者の事業承継について

#### 佐藤 悦子

1. 国保税の引き下げについて
2. 教職員の異常な長時間労働をなくすことについて

#### 小関 淳

1. 子どもの生活環境について
2. 図書館事業の改善について

#### 叶内 恵子

1. 新庄市看護師養成所について

#### 高橋 富美子

1. 未来をになう子どもたちの為に
2. 安心・安全な暮らしを

## 健やかで健康的なまちづくりを

市長 最上地域の胃がんの死亡率は、女性だけでなく、男性も全国平均を大きく上回っている状況で、胃がん対策が重要である。胃がん死亡率減少のため、胃がん検診未受診者の受診勧奨、受診率向上に取り組み、他の疾病とともに早期発見、早期治療を図る。高齢者の健康維持を図るには、生活習慣病等の疾病予防・重症化予防や介護予防の取り組みにより運動機能や生活機能認知機能の低下を防止し社会参加を促進することが重要。検診の受診勧奨の継続や生活習慣改善の保健指導に加え、地域ふれあいサロンや老人ク

◎全国の平均死亡率の高い胃がん対策として健康寿命を高め、人生百歳時代に沿う健やかで、健康的に生活出来る総合的な政策を進めてもらいたい。



小嶋 富弥 議員

市長 現在の県立新庄病院は、駐車場等の周辺施設を含め、2haを超える敷地を有し、道路環境も、国道13号から市街地へアクセスする幹線道路に接し、周囲には街区公園や升形川があるなど良好な都市環境下にある。策定中の都市計画マスタープランでは、拠点の開発地に位置づけられ、地域活性化につながる場所と考えている。県立新庄病院を含めた県有地の跡地利用については、県との協議を重ね、街づくりにおける有効な利用・活用を検討したい。

◎全面移転改築の県立新庄病院が旧富士通ゼネラル跡地に2023年に開院の予定です。移転後の跡地用地の活用を市として、どう図るのでしようかをお聞きいたします。

ラブでの地区出前講座やラジオ体操を実施し、高齢者の心身の特性を踏まえた低栄養予防、うつ予防に取り組んでいる。元気な高齢者の健康増進及び健康寿命の延伸を目指し、関係機関と連携を図りながら健康づくりを推進する。



週1回、公民館で健康増進の100歳体操

## キーワード 県との協議



山科正仁 議員

◎多面的機能支払交付金など、各種補助金等の有効的な使われ方と最大限の効果を得るためのチェック体制はどのようなものかを伺う。

**市長** 各種補助金は、補助金ごとの目的や交付条件など詳細に定めた交付要綱等に基づいて交付している。また、上位法の改正や社会情勢の変化などに応じて、必要な見直しを行っている。補助金の交付の際は、申請内容が市の目指すべき方向と合っているか、事業の公益性、効果などの観点から審査し、実績報告では、補助金の使途や事業効果を検証するなど、関係各課で常に精査しながら対応している。補助金で効果が薄いものや交付が長期化して既得権化しているものなど、交付の妥当性については常に検討を行い、市民の理解を得る事ができる



ように努める。

◎移転後の県立新庄病院建物と土地の有効的な活用を県と協議することが、到来する「市有施設の更新問題」の解決を図る一役になるのではと考えるがいかがか。

**市長** 現在の県立新庄病院の立地場所は、市の中心部であり、市の街づくりの観点から重要な場所と認識している。市の方針を検討し、県の意向も踏まえ、しかるべき時に県と協議を進めたいと考えている。県の意向が最優先だが、市の施設の総量、全体的なコスト低減や、施設の統廃合・複合化、多機能化など活用の中身を十分に検討しなければならぬと考える。



## 文化遺産の保存と継承を！！

**市長** 少子高齢・人口減少問題は人的面、予算面で新庄まつりの運営にも影響を与えている。課題の一つである山車の作り手確保として、山車の製作体験が実施され、山車製作をきっかけとした新庄まつりの担い手の確保が期待されている。今後も継続できるような連携を密にする。各山車連盟の山車製作・運営に係る財源が厳しいという状況は認識している。深刻化する人口減少問題や激変する社会情勢を

◎新庄まつりは、絢爛豪華な山車が巡航され、世界に誇れる市民の宝となっている。人口減少・少子高齢化を受け次世代への継承を危ぶむ町内会も少なくない。山車行事を文化遺産として捉え、保存と継承に行政も本腰を入れ支援していく必要がある。市の見解を伺う。



石川正志 議員



考えた場合、各山車若連が交付金の増額を受けても現状を維持するのは難しくなることが予想され、その時々状況に応じたまつりの運営も必要と感じている。先人たちが築いてきた新庄まつりの歴史を未来に引き継ぐことが、現代に生きる私たちの使命であり、今後も実行委員会を通じての支援を継続しながら、関係機関、関係団体とともに知恵を絞り、課題解決に向けた方策を検討したい。

**教育長** 大学を巻き込んだ取り組みとして、新庄まつりをテーマに学ぶ学生を受け入れている。様々な企画を学生が自主的に立案・実施している。この活動が継続・発展できるように関係者と連携を図るとともに、まつりを通じた交流人口の拡大が一層図られるための方策を今後も検討する。

# 事業承継を真剣に考えよう!!



佐藤 卓也 議員

◎中小企業や小規模事業者の経営者のうち、65歳以上の方は全体の約4割を占めており、今後も事業を継続・発展させていくために、次世代へスムーズに事業承継を進めることが必要と考えますが、市の取組を伺う。

**市長** 中小企業・小規模事業者の事業承継は、全国的な課題の1つと捉えられている。中小企業庁は都道府県単位での「事業承継ネットワーク」設立を進め、本県でも昨年11月に「山形県事業承継ネットワーク」が設立された。支援策は、各関係機関による相談窓口のほか、専門家を企業へ派遣する支援、融資制度、中小企業庁の補助金等がある。市でも、商工会議所に交付している事業補助金の補助対象事業に事業承継支援を新たに追加し対策を強化する。



◎ICT推進に向けて、どのように取り組んでいき、ICT戦略に向けた人材育成をどのように行うのか。

**市長** ICT（情報通信技術）を取り巻く社会環境は、スマートフォン、タブレット型端末といった携帯情報端末の普及、インターネット技術やデジタルテクノロジーの進化等を背景にこれまでにない様々な活用が広まっている。市では、ICTを活用した情報化に取り組み、市民ニーズを優先した質の高い行政サービスを提供することを趣旨とした「新庄市情報化計画」を策定している。現在、実施状況の検証、新たに展開すべき事業の洗い出しを行っている。国・県の動向と歩調を合わせICTの利活用に取り組み、職員のICTに関する知識を深めること、活用のためのスキルを学ぶこと、ICT戦略を推進するリーダーの育成が必要であり、研修計画の内容に検討を加えながら人材育成に努めたいと考えている。

# 高すぎる国保税。大幅引き下げを



佐藤 悦子 議員

◎今年度国保税が引き下げられたが、それでも高い。子ども均等割をなくして、大幅引き下げを。国の負担を1兆円増やせば、会社員の保険料なみに引き下げができるのではないか。

**市長** 本年度、国民健康保険の税率を引き下げ、一人当たりの課税額では、県内13市中第10位となり、大幅に減額となった。全国市長会においても国への財政支援の継続・拡充や子ども均等割を軽減する支援制度の創設を要望している。子ども均等割の免除は、子育て支援の観点から重要な課題であり、国の動向を注視する。

◎教員の持ち時間数を1日4コマを目安に定め、必要な教員定数を増やすべきではないか。教員の異常な長時間労働をなくすよう取り組みを。

高すぎる国民健康保険税

年収(40代の親、賃貸)	400万円(夫婦と子2)	180万円(親1子1)
国民健康保険税	44万5500円	17万4200円
(会社員の健康保険料)	(22万5792円)	(10万5840円)
差	約22万円多い	約7万円多い

	子どもの均等割	
新庄市	3万4400円	
岩手県宮古市	0円	2019年度から。市独自繰り入れて。

**教育長** 教員の持ち時間数は、学校規模や担当学年、担当教科等で異なるが、現在、小学校では平均で週当たり25時間程度、中学校では平均で週当たり17時間程度の持ち時間となっている。小学校では、担任外の教員が特定の教科を受け持ち、担任の空き時間を確保している。中学校では、時間割の作成を工夫し、教員が1日の中で空き時間を確保できるようにしている。組織的な対応で、児童生徒に向き合う時間の確保に努めている。教員定数は、教員が一人一人の児童生徒に向き合い、充実した教育活動を展開することができるように、これまでも適切な配置を要望している。今後も学校や教員に寄り添い、一層の負担軽減を図る取り組みを進める。

## 子どもたちが安心して心豊かに育つ新庄に



小 関 淳 議員

◎児童虐待などで犠牲になった過去10年間の子どもは、全国で約1000人。当市で児童虐待の事案はあるか。今後子どもの命を、どのような体制で守るのか。

**市長** 平成29年度の虐待事案は、通告件数4件、認定件数3件、保護された児童は2名、今年度は2月末現在で、通告件数11件、認定件数8件、保護された児童は7件で、例年の倍以上に虐待対応件数は増加している。今後も児童虐待の発生予防のため、地域や関係部署と連携し情報収集を行い、虐待の疑いがある場合は、子どもの安全を最優先に初期調査を行い、警察、児童相談所と連携し早期に対応する。

◎市立図書館を運営する指定管理者スタッフの評判は高い。しかし、施設全体は狭小で、危険で、不便である。せめて

児童書を借りにくる親子の安全は守るべきではないか。

**教育長** 市立図書館は、指定管理者制度を活用し運営され、指定管理者職員のほとんどが図書館司書の資格を有し、また、県内第1号に認定された認定司書もいる。専門的な知識での対応も市民の方から大変好評を得ている。施設としての駐車スペースは8台と県内13市で最も少ない現状であり、また、1月、2月の2か月間、危険回避のため駐車場を閉鎖している状況にある。利用者の不便さを解消するため、歴史センターへのブックポストの設置、貸出冊数を増やす、貸出期間を延長するなどの対応をしている。今後も、サービスを低下させることなく、市民から親しまれ、活用される図書館となるよう努める。



## 看護師養成所建設用地をより慎重に



叶 内 恵 子 議員

◎看護師養成所開校が1年延期された。昨年9月に議決した用地取得費を改めて新年度に予算措置を行う。1年延期が可能であったならば、用地をより慎重に選択できたはずである。これまでの経緯を踏まえ、開校計画は一旦白紙に戻し0からの見直しを行うべきである。いかがか。

**市長** 建設用地の考え方は、まちなかの賑わいや学生の利便性を考慮し、新庄駅周辺や県立新庄病院建設予定地周辺の検討を行い、まちなかの賑わいを一番に期待し、現在の建設予定として決定したもので、開校を1年延期しても変わるものではない。住民の皆様への期待に応えるためにも、早期の実現を目指す必要がある。用地造成に多くの費用を掛けず、施設や設備、教育内容の充実のため財源を投入し

たい。これまでの成果として、4月から教員を採用する見込みが立っており、また、実習施設として可能性のある病院や介護施設等においても、必要性の認識を共有していただき、実習指導者講習会の受講の検討もしていた。これまで積み上げてきたものを崩すことなく、地域の関係機関とともに進めていく。学んだことを仕事に繋げることができ、教育機関を設置することで、地域の若者が希望を抱き、地域で活躍したいと思える仕組みをつくることができる。看護師を目指す若者の地元定着を図り、地域に必要とされる看護師を育成することを目的に設置の準備を進めているものであり、より早期の実現を目指したい。



北本町の旧医院跡地

# 未来を担う子どもたちの為に



高橋 富美子 議員

◎放課後児童クラブ、放課後子ども教室の現状と課題について、また各課の連携のもと今後の方策を伺う。

**市長** 放課後児童クラブは、保護者が安心して仕事ができるよう、児童の事故防止と健全育成を図るため行っている。当市の放課後児童クラブは、公立が4所、民間立が6所の合計10所で、公立の定員は合計205名。平成31年4月からの利用申し込み状況は、定員205名に対して2月末で238名の応募があり、33名が入所できない状況となっている。対策として、既存の施設の改修利用、学校の空き教室の可能性及び放課後子ども教室との連携利用等を検討する。放課後子ども教室は、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごすため、学習、スポーツ、文化活動を地域住民と

の交流を図りながら子どもの居場所づくりを行う事業となる。地域全体で子どもたちの豊かな成長を育む事業で、参加した児童・保護者からは大変好評を得ている。



市内の放課後児童クラブ

◎学校教育のさらなる国際化に向けた取り組みについて、新学習指導要領の2020年度からの全面实施を見据えた英語教育の取り組みについて伺う。

**市長** 2020年度からは、3・4学年に外国語活動が導入され、5・6学年では外国語科が教科として実施される。完全実施に向けて国から配布される新教材を用いて、3・4学年で15時間、5・6学年で50時間の授業を行うこととしている。新学習指導要領で目指す外国語教育の在り方やALTと連携した授業づくりの研修を実施しているが、今後、児童が外国語に慣れ親しみ、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成することができるよう学校と教員を支援する。

## ようこそ議会へ

3月定例会では、多くの方が市議会一般質問や予算特別委員会を傍聴していかれました。一般市民15名のほか、新庄小学校の6年生77名、合わせて92名の方々が議場を訪れ、議員と執行部のやり取りに熱心に耳を傾けていました。

一般市民の方はもちろんのこと、新庄の未来を担う子どもたちから議会の傍聴を通して議会の仕組みや市政について知ってもらったことは、とても嬉しいことです。

平成30年度は、6月定例会から数えて265名の方々に議場まで傍聴に来ていただきました。

議会は、どなたでも傍聴することができます。ぜひ市役所3階の議場へお越しください。



# 市民の声を受けて

平成30年12月17日、第12回議会報告会に寄せられた「市民の声」を届けました。その回答が届きましたので、一部を紹介します。

・病院までの足を確保してほしい。市内循環バスが始まっているが、市内より便利の悪いところを走らせるべきではないか。バスの時刻表や路線図など頂いたが分かりにくい。山交バスなどの乗り換えなど分かりやすいよう直していただきたい。

## 【回答】

市内を走るバス、タクシー、鉄道等の公共交通につきましては、市民の皆様の生活を支える移動手段として、持続可能で利便性の高い公共交通網を実現するため、市では、平成29年度に「新庄市公共交通網形成計画」を策定いたしました。この計画に基づき、市街地における県立新庄病院をはじめとする医療機関や商業施設等の移動需要の高い施設への周遊性を確保するため、本年11月1日から「まちなか循環線」の運行を開始しております。その他、市内を運行する市営バス土内線・芦沢線、鮭川村営バス羽根沢線及び大蔵村営バス肘折線につきましても、医療機関や商業施設を経由しており、市民の通院や買い物における移動手段の確保を図っているところですが、

また、これまで公共交通手段

が身近にない地域におきましては、今年度にアンケート調査を実施させていただき、地域の声をお聞きしたところでござります。引き続き、住民の皆様のご意見をお聞きしながら、今後の公共交通政策につきまして検討してまいります。

また、今年度、「新庄市地域公共交通網形成計画」に基づく事業の一つとして、まちなか循環線につきましてのチラシ及び市内における公共交通情報をまとめた時刻表を作成し、配布させていただきます。より使いやすい時刻表の作成に取り組んでいくとともに、乗継の情報等を含めた情報の提供につきましても検討してまいります。



・鮭川村のように、小学校の給食費を無料にする施策はとれないか。

## 【回答】

給食費の無償化は、子育て支援充実策のひとつとして有効な方策ではありますが、導入につきましては多額な費用を要する

ことや、安全で安心な給食を提供するための調理施設や教育環境の充実のための予算が優先であるため、現段階での導入は考えておりませんが、経済的に困窮している世帯への支援として、就学援助費において給食費を全額支給しております。給食費への助成は県内でも広がってきておりますので、今後も、市の教育施策の中で総合的に判断してまいります。

・高齢者の運転免許証返納後の交通手段の利便性をはかっています。いただきたい。

## 【回答】

高齢者の自動車運転による事故が社会問題となり、県内各自治体におきましても、自動車運転免許証の自主返納を支援する取組が進められておりますが、市といたしましては、今後、さらに高齢化が進むことが確実であることも踏まえ、運転免許証を返納した方だけではなく、将来自分では移動手段を確保できない交通弱者となってしまう方の対応までを含めた対策が必要と考えております。そこで、地域の公共交通がどのようにあるべきかという観点から検討を行い、

利便性が高く持続可能な地域公共交通網の構築を目指すため、昨年度末に「新庄市地域公共交通網形成計画」を策定したところです。

また、11月1日から運行開始しております「まちなか循環線」につきましては、市内の病院、買い物施設や公共施設等への移動手段を確保することで、市内のバス路線の利便性を向上させるとともに、自動車運転免許証の自主返納を促すための一助になるものと考えております。



・つぶれた空き家が2戸あり、町内として手が出せないのので対策を講じていただきたい。

## 【回答】

つぶれた空き家であっても個人の財産でありますので、所有者に適正管理の指導・要請を行なっております。また、周囲に危険が及ぶ状況であれば、市が緊急的な対応を行うこともございます。空き家の状況につきましては今後注視してまいりますが、急激な状況の変化などがありましたら環境課までご連絡ください。

・道の駅は温泉との複合化などで検討してもらいたい。本当に必要な事業を選択して市政を進めてもらいたい。

【回答】

道の駅につきましては、建設候補地など本市道の駅の基本的な方針を示す「新庄市道の駅基本構想」を策定したところで、具体的な導入施設は、次の段階である基本計画の中での検討を考えております。次の段階へと進む時期につきましては、現在、明倫学区における義務教育学校や看護師養成学校の建設など大型事業が控えておりますので、それら事業との平準化や東北中央自動車道はじめ新庄酒田道路や石巻新庄道路の進捗など、今後、高速道路がつながる時期の見通しから、判断してまいりますと考えております。

・若者を受け入れる企業が少なく、新庄に残る若者が少ないため、若者の就職先を増やしてもらいたいとの意見があり、工業団地のPR等を更に行ってもらいたい。

【回答】

高規格道路網の整備進展等を背景に、新庄中核工業団地では

平成24年から毎年度、新規の用地売買契約を結んでおります。現在の空き用地は残り2区画、面積は約5・9ヘクタールで、分譲率は約94%に達しました。

一方、求人を出しても人が集まらないという切実な声が、多くの市内企業から業種を問わず寄せられております。平成29年度のハローワーク新庄管内の有効求人倍率は、1・12と1・57の高い水準で推移しました。当分の間このような状況が続くものと見込まれます。このことから、本市の雇用に関しましては、企業の誘致よりも市内企業の人材確保対策が急務であると認識しており、以下のような若者の地元回帰・定着のための施策を実施しているところです。

【高等教育機関の学生と市内企業とを結び付ける取組】

- ① トライアル雇用
  - ② 企業訪問奨励金
- 【若い世代に市内企業の情報を伝える取組（将来のUターン就職に繋げる）】
- ① Shijōjob体験
  - ② 市内企業見学バスツアー
  - ③ 企業情報パネル展示

# この街に学ぶ

## 総務文教常任委員会

### 観光とまちづくりの融合施策

#### 視察日程

平成30年10月4日～5日

#### 1. 視察内容と視察先

- ① 八戸市の商業・観光の施策について（青森県八戸市）

- ② 宮沢賢治を生かしたまちづくりについて（岩手県花巻市）

#### 2. 視察参加議員

奥山省二・山科正仁・小嶋富弥  
森 儀一・新田道尋・下山准一  
小関 淳・星川 豊

#### 3. 所感

花巻市においては、最大限の観光集客の目玉である「宮沢賢治生誕の地」をメインにした施策がある。豊かな自然環境とマッチした施設が多く、予算措置のボリュームから本気度がうかがわれた。当市には、ゆかりのある「松田甚次郎」が存在し、このことを生かした施策を検討し、「宮沢賢治&松田甚次郎」の可能性を感じた有意な視察であった。



## 産業厚生常任委員会

### 健康で長生き

#### 視察日程

平成30年8月2日～3日

#### 1. 視察内容と視察先

- ① 医学生奨励資金制度（岩手県一戸町）
- ② 健康の駅推進事業（秋田県横手市）

#### 2. 視察参加議員

佐藤卓也・石川正志・佐藤悦子  
叶内恵子・今田浩徳・遠藤敏信  
高橋富美子・佐藤義一

#### 3. 所感

健康の駅とは、地域で健全な健康維持推進活動をリードする施設として「健康推進機構」より認証された施設であり、認証を受ける際には老若男女問わず集まりやすい取り組みや生活習慣病や介護予防に有効な健康維持プログラムを実施していることが大きなポイントになっている。新庄においても高齢化が進んでおり、市民が健康で長生きしてもらうために、運動しやすい環境整備と情報提供の場の必要性を感じた。





# 特集

## 未来を育む子供たち

### 「昔語りを生かして」

升形小学校 6年  
 加藤 実来 さん（現・本合海中学校 1年）



私は、新庄・最上の昔語りが大好きです。  
 私は、4年生の時に昔語りに出会い、昔語りの内容のおもしろさに興味を持ちました。そして、5年生からは、自分で語るようになりました。すると、話の内容だけでなく、方言やリズムなど、表現のおもしろさも感じられるようになりました。昔語りは、私たちの生活と身近なものです。聞いても語っても、とても楽しく、すばらしい新庄・最上の伝統であり、魅力の一つであると気づきました。

私は、人と人が楽しく触れ合うために、昔語りはとても有効だと思います。だから、私は、これからも昔語りのイベントに積極的に参加して、昔語りに多くの人に興味を持ったり、楽しんだりしてもらえるようにがんばりたいです。そして、もっと昔語りにつながる輪を広げ、昔語りや新庄・最上の魅力をアピールしていきたいと思っています。



昔語りをしてくださっている「渡部豊子さん」と記念撮影



昔語りの様子

### 6月定例会の予定

- 5月23日(木) 請願締切
- 6月 5日(水) 開会
- 6日(木) 一般質問 **中継あり**
- 7日(金) 一般質問 **中継あり**
- 10日(月) 常任委員会
- 11日(火) 常任委員会
- 17日(月) 最終日 **中継あり**

開会は10時です ◇ 請願は随時受け付けております。

#### 議会を傍聴してみませんか？

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会議務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコンのほかに

スマートフォン・タブレットでも市議会ネット中継が視聴できます！



### 市議会インターネット中継

ウェブサイトで検索

新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますのでぜひご利用ください。  
 ※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

障がいをお持ちの方や高齢の方でも議会傍聴しやすい環境づくりを目指していきたいと考えています。市民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

### あとがき



旧新庄市屋内ゲートボール場にペットボトルが運び込まれ、周辺住民が困惑している。  
 スーパーの資源回収ボックスに、飲み残しや異物が入っているものが含まれていることがこの状態を引き起こしている一つの要因といえる。汚れたままのペットボトルは国内のリサイクルに回すことができない。又、分別が徹底されていないものや質の低い廃プラスチックも輸入していた中国の輸入禁止が影響を与えているといえる。  
 市内福祉作業所に赴くと汚れたペットボトルの分別作業を目の当たりにする。分別作業は、利用者のリハビリを含め社会参加を可能にしているとのことだが、汚れていないもので作業してもらう方が良いのではないかと自分たちの出した資源ゴミを自分たちの地域全体で上手に循環させていく、リサイクルさせていく真剣な取り組みを迫られているのではないだろうか。まずは、自分の手から離れた資源ゴミの『ソノサキ』をキチンと考え自分たちができる取組みをキチンと行うことが必要ではないだろうか。そうであれば、ペットボトル回収の有料化が必要になってしまふのだからと考える。  
 (記・叶内恵子)

### 議会報編集委員の紹介

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 石川 正志 |
| 副委員長 | 叶内 恵子 |
| 委員   | 遠藤 敏信 |
| 委員   | 今田 浩徳 |
| 委員   | 佐藤 悦子 |
| 委員   | 山科 正仁 |

